

血液凝固分析装置 FibCare

迅速なフィブリノゲン測定は、妊産婦さんおよび
私たちに安心・安全を提供しています。
高次施設とのコミュニケーションにも役立っています。



平成2年に三重県松阪市にて開業。
「いのち♥ありがとう」の感謝の気持ちを大切に、一人ひとりに合った、より良い治療を提供することを心掛けている。「やさしさ、微笑み、思いやり」の相手を気遣う心伝えるために「ハートフルコミュニケーション」を実施している。
近隣の高次施設と密に連携をし、緊急時の対応が円滑に行えるよう、スタッフ教育にも力を入れている。

三重県松阪市船江町3-3

お話を伺った方



河合産婦人科
院長

河合 美良 先生

FibCareの導入背景

当院ではスタッフ教育の一環として、地域連携している高次施設の先生を講師にした勉強会を定期的開催しています。昨年、某先生に産科危機的大出血に関する講義をしていただき、フィブリノゲンの臨床的意義を再認識するとともにベッドサイドで短時間にフィブリノゲンが測定できる装置があることを知りました。FibCareを臨床活用できれば、「分娩後の妊産婦さんの出血傾向が把握できる」、「産科危機的出血の判断が迅速且つ的確に行える」、また「搬送連絡の際にフィブリノゲン値を伝えることで高次施設の対応も変わる可能性がある」と思い、講師の先生の勧めもありFibCareの購入を決めました。

- 迅速なフィブリノゲン測定は、妊産婦の出血傾向が把握でき、産科危機的出血の判断が迅速に的確に行え、且つ高次施設にとっても有用な指標になり得る。

測定のタイミング

当院は高次施設との距離が比較的近く業務連携もできているため、輸血などの高度医療は高次施設に依頼することにしてあります。1次施設として、早い段階での産婦さんの止血状態を把握することが重要だと考え、分娩時異常出血の判断値である500mL以上を参考にし、経膣分娩時の出血量が500mL以上だった場合や帝王切開時にフィブリノゲンを測定しています。

現在のフィブリノゲン測定頻度は分娩数の15~20%程度です。大量出血は頻繁に発生するものではありません。緊急時に備え、リスク管理の視点からも日常的にスタッフがフィブリノゲン測定を実施できる環境を整えることが重要だと考え、検査の質を担保するためにも適切な測定頻度だと考えています。

FibCareは分娩室に設置し、スタッフが作成したイラスト入りの手順書やメーカーから提供された資料を見な



写真1 分娩室に設置しているFibCare

から測定しています。全スタッフがフィブリノゲンの迅速測定の意義を理解しているためか、測定に対する抵抗はなく、フィブリノゲン測定は、日常業務として定着しています。

- 経陰分娩時の出血量が500mL以上、帝王切開の場合に、フィブリノゲンを測定。
- スタッフが測定意義を理解し、日常的に測定することが検査の質の向上につながる。

導入後の効果

導入して半年以上になりますが幸い分娩直後に150mg/dL以下を示した産科危機的大出血の症例はありません。フィブリノゲン測定は、分娩時の出血が多く輸血等の治療が必要になり搬送する際にも役立っています。実際、分娩時の出血が2L、SI値が1.8(118/65)、フィブリノゲン値が260mg/dLの症例で高次施設に搬送した際に、高次施設の先生から搬送連絡時にフィブリノゲンの値が分かっていたため、搬送時の受け入れ準備がしやすかったとの声をいただき、FibCareを導入して良かったと思えました。

また、産後1週間の検診時に産褥出血が通常より多かったため子宮内の処置をしたところ、出血が止まらなくなった症例がありました。その時のフィブリノゲン値は、133mg/dL、急いで高次施設に搬送しました。稀な症例ではありますが、フィブリノゲンの値が止血に直結していると実感した症例でした。



写真2 133mg/dLを示したFibCare

FibCareの導入により、エビデンスに基づいた診断、搬送判断が迅速かつ明確に行えるようになりました。自施設でのフィブリノゲン測定は、妊産婦さんに安全を提供できるだけではなく、私たちスタッフにとっても安心感を提供してくれています。また、高次施設とのコミュニケーションにも有用な情報だと感じています。現在では、「異常出血の際には、まずはフィブリノゲン測定を!」が定着しており、欠かすことのできない検査装置になっています。

- FibCareを導入したことで、エビデンスに基づいた迅速診断が可能になった。フィブリノゲン測定は、妊産婦さんおよび私たちに安心・安全を提供し、高次施設とのコミュニケーションにも役立っている。

検査費用

分娩時の出血量500mL以上でも多くは問題ない正常分娩のため、当院では検査費用として、実費請求しています。退院時の会計で「分娩時の出血が多かったので、止血の状態をみるためにフィブリノゲンを測定させていただきました」と説明しており、今のところ苦情はありません。母子手帳にも分娩時の出血が500mL以上の場合には、「多量」と記載されるため、妊産婦さんにとっても安心感を提供できていると考えています。医療を提供する立場として、妊産婦さんの立場になって安心・安全をどのような形で提供するか考えることも大切だと思います。

- 正常分娩の場合、検査費用は利用者に請求している。
- 妊産婦さんの立場に立ち、安心・安全な医療を提供することが大事。

フィブリノゲン
測定
約2分

血液凝固分析装置

FibCare

POCT フィブリノゲン分析装置

■アニメーションで案内をする
シンプルな操作手順

■見やすい結果表示

■ワンカートリッジ試薬
・単回個装・試薬調製不要

■A4サイズ以下
・W146×D265×H117mm